

日本基礎技術株式会社 (JAPAN FOUNDATION ENGINEERING CO.LTD )  
<http://www.jafec.co.jp/>

技術本部技術部環境グループ 沓澤武  
takeshi\_kutsuzawa@jafec.co.jp

1. 日本基礎技術はどこにでもいきます

『建設基礎工事の様々な分野で、ものづくりの施工技術を提供する専門業者。「削孔」と「注入」という当社の基本技術を更に磨くとともに、「環境」「防災」「補修・保全」を軸とした応用とアライアンスを含めた新技術の構築を行い、多様化・高度化するニーズに、調査、技術、営業、工事部門の連携で総合力を発揮し、より一層「社会に信頼され、貢献できる会社」を目指してまいります。』

・・・とは弊社ホームページの挨拶文です。当社の守備範囲は「基礎・地盤」をキーワードにとっても広く、もう少し説明させていただくと、これを書いている私は主に「山」に関わる範囲、例えば「地すべり」対策では原因究明の「調査・計測・解析」を行い、対策手段を「設計立案」し「杭」や「アンカー」で力づくで押さえ込んだ周辺を「緑」に戻す、といったように一連の作業に関わることをしてきました。スペシャリストと称するには私はまだまだ及びませんが、他に「トンネル」だったり「都市の地下」だったり、それぞれの立つ位置から周辺を俯瞰する視点で問題解決できるスペシャリストが多く在籍しております。

つまり地球のあらゆる場所の地表面付近から下側（内側）が仕事場ということです。

2. 緑化システム - 「ファインソフトグリーン」®

弊社の営業場所は相当に広いことを概して説明しましたが、せっかく本誌にスペースをいただいたので、緑化工に関する取り組みを紹介させていただくこととします。

「ファインソフトグリーン」とは法面緑化工法のシステム名称です。これを構成する工法をいくつか説明します。

1) 膨軟化チップ吹付 (特許 4440601 号)

工事現場で発生する伐採木をチップ化し、緑化基盤として利用する所謂「資源循環型緑化工法」です。

膨軟化とはチップを極度に圧縮した後、一気に減圧することでチップ自体が膨張&破碎される処理です。「細かく」「柔らかく」なり、「土に還りやすくなる」効果があります。ま

た、通常の吹付用基盤材と同様に吹付圧で圧縮されるので、利用できるチップの量が各段に多くなります。



2) 竹繊維法面緑化 (特許 3943529 号)

竹の破砕物を吹付基盤に混入し、いわゆる「短繊維補強基盤」を造成することで耐侵食性を高めることを期待する工法です。強い基盤を造成することで、遅速緑化である「自然侵入型緑化」への利用を考えております。



これらの特徴的な方法に、<森林表土利用工>である「近接表土緑化工法」を加えた3つの工法を組み合わせることで法面緑化における植生基盤造成を提案していこうと考えております。「環境型社会」に適応した新しい取り組みとして、日本基礎技術の定番メニューとなるように【ファインソフトグリーン】を育ていこうと日々努力しているところです。

商号	日本基礎技術株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 15 番 17 号 (東京本社)
設立	昭和 28 年 11 月 5 日
代表者	取締役社長 中原 巖
資本金	59 億円余
事業内容	地質調査, 岩盤グラウチング技術, 地盤改良技術, 斜面安定技術, トンネル補助技術, ポーリング応用技術 など
連絡先	Tel : 03-3476-5701 (代)